

## 平成16年度

### 清方八景 序—水野年方に入門の巻—

清方が挿絵画家として出発した時代から自由画を目指した時代までの作品を、師匠の水野年方の作品とともに振りかえる。

会期 平成16年4月23日(金)～平成16年6月6日(日)(開館日数:39日)

総入館者数 3,838人(一日平均:98人)

#### 出品作品

「先師の面影」「浅みどり」「寒月」「暮れゆく沼」「秋宵」「芍薬」

「小楠公弁の内侍を救う」「栗をむく娘」

口絵(水野年方):「浮世見物(福地源一郎著『浮世見物』)」

「大和武士(遅塚麗水著『大和武士』)」

「彌生(稲岡正文著『彌生』)」「虎御前(『新小説』)」

口絵(鏑木清方):「魔風戀風(小杉天外著『魔風戀風 中編』)」「藤乃の巻(菊池幽芳著『月魄』)」

「渦巻(渡邊霞亭著『渦巻』)」「藤娘」「浴後(『文藝界』)」「幕間(『清方美人畫譜』)」

「しほかぜ」「さつき花」

下絵:「木下川深梅」「風鈴の少女」「江戸風俗」「紫陽花の谷」「明治の女」「明治の風俗(少年)」

「明治の風俗(金魚屋)」「船住居」「氷店」「築地川界限 佃の渡」「築地界限 合引橋」

表紙絵:「冬の日(『新小説』)」「田舎源氏(『苦樂』)」「草枕(『苦樂』)」「菖蒲湯(『苦樂』)」

「花菖蒲(『苦樂』)」「牡丹(『苦樂』)」

挿絵:「半島の影(江見水蔭著『半島の影』)」「五十年(川上眉山著『五十年』)」



#### 関連記事

平成16年4月2日 清方「序—水野年方に入門の巻—」(鎌倉朝日)

平成16年5月1日/6月1日 清方八景・序～水野年方に入門の巻(広報かまくら)

平成16年5月7日 清方の足跡 8景に 1年間かけて鎌倉の記念美術館(神奈川新聞)

平成16年5月20日 鏑木清方記念美術館 清方八景 序—水野年方に入門の巻—(東京新聞)

平成16年10月1日 清方八景—鏑木清方記念美術館—(地方史研究 311号)

### 清方八景 第二景—自由画を志しての巻—

展覧会に出品を重ね、挿絵画家から完全な転向を試みていった時代の作品を展示した。

会期 平成16年6月11日(金)～平成16年7月25日(日)(開館日数:39日)

総入館者数 3,540人(一日平均:90人)

#### 出品作品

「襟おしろい」「朝涼」「嫁ぐ人」「孤児院」「あじさい」「曲亭馬琴」

「牡丹 一」「牡丹 二」「風景画」「霽れゆく村雨(下絵)」

#### 関連記事

平成16年6月15日/7月1日・15日

清方八景・第二景～自由画を志しての巻(広報かまくら)

平成16年7月 2日 鏑木清方記念美術館「自由画を志して」(鎌倉朝日)



## 清方八景 第三景—明治風俗の巻—

関東大震災で失われた明治の面影を後世へ伝えるべく、清方が描いた作品を展示した。

**会期** 平成16年7月30日(金)～9月5日(日)(開館日数:33日)

**総入館者数** 1,997人(一日平均:60人)

### 出品作品

「一葉女史の墓」「にごりえ(全15図)」

「たけくらべ 霜の朝(下絵)」「たけくらべ つり忍(下絵)」「鯛(下絵)」

### 関連記事

平成16年8月1日・15日／9月1日 鎚木清方記念美術館

清方八景 第三景～明治の風俗の巻(広報かまくら)

平成16年8月27日 清方八景「第三景～明治の風俗の巻」(読売新聞)



## 特別展 清方八景 第四景—東京の人 鎚木清方の巻—

東京で生まれ育った清方が、庶民生活を生き生きと描いた作品や、庶民の娯楽である芝居を題材とした作品を展示した。

**会期** 平成16年9月14日(火)～平成16年11月23日(火)(開館日数:57日)

【前期】平成16年9月14日(火)～10月17日(日)

【後期】平成16年10月23日(土)～11月23日(火)

**総入館者数** 5,551人(一日平均:97人)

### 関連事業

【講演会】東京の人 清方を巡って

【講師】倉田公裕(美術評論家・前専門委員)

【日時】平成16年10月12日(火)14:00～15:30

### 出品作品

「雛市」 明治34年 絹本着色 額 136.0×72.0 北野美術館

「春の夜のうらみ」 大正11年 絹本着色 軸 185.2×100.8 新潟県立近代美術館

「桜姫」 大正12年 絹本着色 軸 135.5×50.2 新潟県立近代美術館

「大川の虹」 昭和27年 絹本着色 額 63.4×87.3 水野美術館

「夏の宵」 昭和28年 絹本着色 額 54.0×51.0 北野美術館

「教誨」「新大橋之景」「夏の思い出(部分)」「梅蘭芳 天女散華」「カルメン」「築地明石町の船・詞」

「夏の柳井戸(柳乃井戸)」

口絵:「あさ露(『文藝倶楽部』)」「にせ紫(小杉天外著『にせ紫』)」「勝鬨(渡邊霞亭著『勝鬨』)」

下絵:「築地明石町」「賛春」「鷺娘」「十一月の雨」「榊神社奉納額」「築地川界限 佃の渡」「築地界限 明石町」

表紙絵:「神田祭(『苦楽』)」「菊(『苦楽』)」「王子詣(『苦楽』)」「紅梅屋敷(『苦楽』)」

「柳の井(『鎚木清方繪入本 御濠端』)」「大手町附近(『鎚木清方繪入本 御濠端』)」

### 関連記事

平成16年9月15日 特別展「清方八景・第四景～東京の人 鎚木清方の巻」(前期)(広報かまくら)

平成16年10月1日 秋の鎌倉散策のおすすめスポット「鎚木清方記念美術館」へ

(家庭画報特選「きものサロン」'04秋号)

平成16年10月15日 明治から昭和の東京 女性や庶民を描く～特別展「東京の人 鎚木清方の巻」

10/23から後期展示 鎚木清方記念美術館(広報かまくら)

平成16年11月1日・15日 特別展「東京の人 鎚木清方の巻」(後期)(広報かまくら)

平成16年11月2日 鎚木清方記念美術館 特別展「東京の人」(鎌倉朝日)

